

令和4年度 学校自己評価書

小美玉市立納場小学校 校長 荘司 宏征

1 今年度の取組みの概要

かがやく納場っ子の育成：かがやく瞳 (体) がんばりぬく姿 (徳) やさしい心 (知) くふうするかしこい頭 (知)

- 「がんばりぬく姿」の育成
 - ・運動量を確保した体育授業の充実（30分の活動時間確保）
 - ・規則正しい生活習慣づくり
 - ・健康教育、安全教育の充実
 - ・体力づくり運動の推進
 - ・朝ランニングの継続
- 「やさしい心」の育成
 - ・道徳教育の充実
 - ・学級経営の充実（いじめ重大事態0）
 - ・体験活動の充実
 - ・読書活動の充実（50冊読破）
 - ・自主性を育てる特別活動の推進
 - ・気持ちの良い挨拶
- 「くふうするかしこい頭」の育成
 - ・学ぶ意欲と学習態度の育成
 - ・基礎的・基本的な知識・技能の定着
 - ・学習の習慣づくり
- 開かれた学校づくりの推進
 - ・学校運営協議会の実施（地域人財の活用）
 - ・保幼小の連携
 - ・HPの充実
 - ・小中一貫教育の推進
- 信頼される教職員集団の育成
 - ・感染症対策の徹底
 - ・コンプライアンス意識の高揚
 - ・研修の充実
 - ・インクルーシブ教育の推進

<達成度 A：十分に達成 B：おおむね達成 C：達成せず D：課題が残る>

◎ 組織目標1についての具体的な取組み

組織目標1	体力や自己管理能力を高めることを通して、健康で活力のある児童を育てる。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○運動量を確保した体育授業の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝ランニングの実施 ・業間運動の工夫（持久走、なわとび） ・体力差、技能差に応じて選択できる授業の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テスト(A+B=39.3%) ・「進んで体力づくりをするよう指導している」 92.8%（自己評価） ・「運動をすることが好きですか」 85.2%（児童） 	B
○安全教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的な避難訓練の実施と工夫改善 ・登校班集会の実施 ・朝の立哨と下校時の巡視 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が危険予測をする力を高める指導の工夫 ・「安全に学校生活を送れているか」 93.8%（保護者） 	A
○健康教育の充実と生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師の活用 ・養護教諭による保健指導 ・早寝早起き朝ご飯の奨励 ・栄養教諭による食育指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・薬物乱用防止教室（6年） ・生教育（5・6年） ・おなか元気教室（1年） ・朝食摂取率 96.4%（児童） 	A

◎ 組織目標2についての具体的な取組み

組織目標2	豊かなかかわり合う活動を通して、豊かな心と生きる力のある児童を育成する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○道徳教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳授業の公開研究授業（3・4・6年） ・校内研修の実施 ・考え、議論する道徳の実践 ・人権集会の開催 ・異学年交流、ペア学年交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・考え、議論する道徳の授業の実施 78.6%（自己評価） ・「優しい言葉かけができています。」 95.9%（児）88.8%（保） ・「ルールを守った生活」 96.5%（児）、92.3%（保） 	A
○学級経営の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめを生まない学級経営 ・生活アンケート（毎月） ・Q-Uテストの活用（年1回） ・今日のキラリ（帰りの会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校は楽しい」 95.9%（児）92.4%（保） ・毎月の生活アンケートの実施 ・継続して指導が必要ないじめ案件は「0」である。 	A
○体験活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験（田植え・稲刈り、脱穀） ・文化ボランティア活動 ・保幼小交流 ・読書活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労体験の工夫改善 ・外部福祉団体との交流 ・保幼小交流 1回 ・50冊読破 60.6% (4～6年合計) 	B

◎ 組織目標3についての具体的な取組み			
組織目標3	「主体的・対話的で深い学び」の授業を通して、意欲的に学ぶ児童を育成する。		
達成目標	具体的な方策	実施結果	達成度
○基礎的・基本的な知識・技能の定着	<ul style="list-style-type: none"> 自分の言葉でまとめる振り返り時間の設定 「学び合い」による交流の充実 学習形態の工夫 I C Tの効果的活用 	<ul style="list-style-type: none"> 授業における「学び合いの場」の設定 85.7% (自己評価) 「自分の意見や考えを進んで発したか。」70.4% (児童) 「タブレットを学習に活用しているか」95.9% (児童) 	B
○分かりやすい授業への改善	<ul style="list-style-type: none"> 研究授業→研究協議会の実施 動画視聴による校内研修の実施 I C Tを活用しての提案授業 	<ul style="list-style-type: none"> 「授業は分かりやすい。授業の内容を理解している。」97.6% (児)、86.7% (保) 「授業の中で学び合いの持ち方を工夫している。」85.7% (自己評価) 	A
○学習の習慣づくり	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習強化月間の実施 学級閉鎖期間のオンライン学習の実施 家庭学習カードを活用しての家庭との連携 	<ul style="list-style-type: none"> 「宿題や家庭学習をする習慣が身についている。」84.6% (児童) 84.0% (保護者) 家庭学習の手引きの活用と学習カードの工夫 (各学年) 	A

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

(成果)

- 読書活動の充実に向けて、学校図書に補充、図書委員と高学年による読み聞かせの実施、読書意欲を喚起する掲示物の作成、たくさん読んだ児童へ葉のプレゼントなどに取り組み、児童の読書意欲の高揚を図った。葉のプレゼントは3年目であるが効果的であった。
- コロナの影響で、授業の中で自分の考えを交流する「学び合い」の場が十分確保できなかったが、時間や形態を工夫し、交流の場をもてるようにした。
- 登校後すぐにランニングや縄跳びなどに取り組む児童が増えた。
- I C Tサポーターと連携を図り、タブレットや電子黒板を活用した授業が展開され、児童が意欲的に学習に取り組めた。教師の活用能力も格段に向上し、特に学級閉鎖によりオンライン授業を実施した際は、タブレットを使用して質の高い授業を提供できた。

(課題)

- モジュール学習の導入により、朝読書に時間の確保が難しくなり、「みんなにすすめたい一冊の本」推進事業で目標としている50冊に届かなかった児童が多い。
- モジュールでの学習の成果が十分ではなかった。
- コロナ禍で「学び合い」を工夫して行ったが、さらに充実させるための工夫や手立てが必要である。外部と情報を共有しながら研修を進めていく必要がある。
- 昨年度に引き続き、体力テストでの投力や柔軟性を高める運動に課題がある。継続して日常的に運動を続けていく指導を行っていく。
- コロナ禍でストレスがたまっている児童もいる。児童の「笑顔」を念頭に WITH コロナの学校生活を楽しくしていける取り組みが必要になる。

3 保護者や地域の皆様へ

保護者の皆様、地域の皆様、日頃より本校の教育活動に深いご理解とご尽力を賜り誠にありがとうございます。おかげさまで児童は安全安心で楽しく、充実した学校生活を送ることができました。

- ◎ 総合的な学習の時間の一環として実施している米作りでは、米作りボランティアやP T Aの方のご尽力により、田植え、稲刈り、脱穀などの貴重な体験させていただき、米づくりの大変さを学ぶことができました。「納場っ子まつり」は3年ぶりに形式を変えて実施しました。児童にとっては充実した活動になりました。今年は餅米を作り収穫した餅米は少しずつ持ち帰り、各家庭で食べていただきました。また、餅米の一部は「おかき」に加工して美味しくいただきました。
- ◎ 登下校のボランティアの皆様には、年間を通し児童の安全な登下校のためにご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで安全に登下校することができました。
- ◎ 「納場地区教育振興後援会」の皆様には、学校の教育振興のためにご尽力いただきありがとうございます。おかげさまで授業を始めとして運動会などの学校行事や環境整備、金管バンド部の楽器購入などに活用させていただいています。
- ◎ 本年度より学校運営協議会を発足しました。協議会を年間4回実施し、熱心な話合いの元、各部(学習支援部・環境推進部・地域連携部)で様々な活動を行っていただきました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

令和5年度も保護者の皆様や地域の皆様の忌憚ないご意見をもとに、よりよい教育活動ができますように、職員一同努力してまいります。今後とも、本校の教育力の向上、発展に一層のご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。